新潟県での二回のヤイロチョウ *Pitta brachyura* 死体回収の記録

風 間 辰 夫

Two Records of Fairy Pitta *Pitta brachyura* Carcasses in Niigata Prefecture

Tatuo KAZAMA

ヤイロチョウ *Pitta brachyura* 2羽が、新潟県で斃死体となって発見されたので報告する。最初の個体の発見は1997年5月19日午前8時頃で、発見場所は新潟県北蒲原郡笹神村大字今板(37° 48' N, 139° 17' Eの新潟県西蒲原郡巻町大字四ツ郷屋から東方38kmの内陸部)で、発見者は大堀久氏であった(図1)。発見の状況とその後の措置は、自宅の軒下で死亡していた個体を拾得し、笹神村教育委員会に届けた。同日午前11時頃、同教育委員会の鈴木氏から新潟県愛鳥センターへ届けられた。死体の状況は多量の内部出血で、嘴から血液が流れ出ていたが、外部損傷は無く、夜間飛翔中に進路を誤り建物等に激突し、内蔵破裂により即死の状態であったと推定した。なお、死体は解剖の上、本剥製として愛鳥センターで展示している。解剖所見による各部測定値は、全長 190mm, 自然翼長 129mm, 尾長45mm, ふ蹠長43mm, 嘴峰長24mm, 体重86g, 雌成鳥で抱卵斑は無かった。臓器計測は可能なもののみ実施し、心臓1.7g, 肝臓3g, 腎臓0.1g, 卵巣最大3mmで、消化器系の食道、素囊、前胃は出血がひどく、肝臓、肺臓は破裂しており、気道内流血がはなはだしくて、肺臓破裂による咯血で窒息死したと判定した。砂嚢に甲虫類と思われる足片が約10本残っていたので、同定を依頼したところ、クロオサムシ *Carabus albrechti* の雄2頭以上の不消化状態と同定された。クロオサムシは飛翔力がないので、地上で捕食したものと思われる。

二番目の個体の発見は2000年6月20日午前9時頃で、発見場所は新潟県新発田市大字熊出(38° 00' N, 139° 27' Eの新潟県北蒲原郡聖籠町新潟東港から東方20kmの内陸部)で、発見者は清水亮子氏であった。発見の状況とその後の措置は、自宅裏の農作小屋前で死亡していた個体を拾得し、そのまま家の中に置いていたが、あまりに美しい鳥であったことから翌21日午後4時頃、新潟県愛鳥センターへ電話連絡し、午後5時頃に持ってきた。当日は28℃の暑さで、かなり鳥体の腐敗が進んでいた。死体の状況はやや悪臭がしており、口内から若干の出血が見られたが、外部損傷はなく、夜間飛翔中に建物等に激突し内蔵破裂により即死の状態と推定されたが、解剖所見による各部測定値は、全長 191mm, 自然翼長 131mm, 尾長45mm, ふ蹠長44mm, 嘴峰長23.5mm, 体重121g, 雌成鳥で最初の個体同様に抱卵斑は無かった。臓器計測は、心臓1.9g, 肝臓3.2g, 卵巣最大3mmで、他は測定不可能であった。消化器系の食道、素囊、前胃、肝臓はすでに軟化しており、出血大で皮下脂肪が極めて多かった。

キーワード: ヤイロチョウ, 迷行, 新潟県

Key Word: Fairy Pitta, Wandering, Niigata.

図1. 1997年5月19日に新潟県笹神村で死体で発見されたヤイロチョウ。

Fig. 1. Fairy Pitta found dead at Sasagami Village, Niigata on 19 May, 1997.

両個体の測定結果は、清棲（1965）と比べて、嘴峰長を除いていずれも大きく、吉井（1988）の全長よりも2個体とも10～11mmほど長かった。また、山階（1941）による測定値に対しては、翼長については最高値より2～4mm長く、尾長は同じく3mm長く、ふ跢長については1～2mm長かった。本種の分布はこれまで、本州（秋田、栃木、埼玉、富山、石川、福井、山梨、長野、静岡、愛知、和歌山、鳥取、島根、広島）、四国（愛媛、高知）、九州（福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島）となっている（日本鳥学会 1974）。渡りに関する記載（Brazil 1991）と生息環境に関する記載（黒田 1982）から考え、また日本における繁殖地が四国と九州、および本州の中・南西部の山梨、長野、三重、鳥取、広島とされているので（日本鳥学会 2000）、新潟県における初記録と2番目の記録となるこれらの2個体の斃死体発見は、迷鳥と言うのが妥当な推定と思われる。

本文作成にあたっては、全般にわたってご指導を頂いた山階鳥類研究所標識研究室長の尾崎清明氏に感謝申し上げるとともに、甲虫類の同定をいただいた越佐昆虫同好会の佐藤良次氏、小池寛氏に厚くお礼申し上げます。また、甲虫類の同定に色々御配慮下さった村上野鳥の会会長の大滝清二氏に厚くお礼申し上げます。

SUMMARY

Two dead Fairy Pitta *Pitta brachyura* were found; one at Sasagami Village on 19 May 1997 and the other at Shibata City on 20 June 2000. These discoveries represent the first and second records of this species from Niigata Prefecture. These individuals most likely strayed into the region.

引用文献

- 清棲幸保, 1965. 日本鳥類大図鑑Ⅱ. 講談社, 東京.
日本鳥学会編, 2000. 日本鳥類目録 第6版. 東京.
山階芳麿, 1941. 日本の鳥類と其生態 第2巻. 出版科学総合研究所, 東京.
黒田長久, 1982. 鳥類生態学. 出版科学総合研究所, 東京.
Brazil, M. A., 1991. The Birds of Japan. Christopher Helm, London.

風間辰夫

〒950-2041 新潟県新潟市坂井東6-5-22

Tatsuo Kazama

6-5-22 Sakaihigashi, Niigata-shi, Niigata 950-2041